

姫路市立網干環境楽習センター指定管理者候補者選定結果

1 管理を行わせる施設

- (1) 名 称 姫路市立網干環境楽習センター
- (2) 所在地 姫路市網干区網干浜4番地1

2 指定管理者候補者

- (1) 名 称 NPO法人あぼしまちコミュニケーション
- (2) 代表者 理事長 勢川 正澄
- (3) 所在地 姫路市網干区余子浜12番地

3 指定期間

令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5年間）

4 選定理由

姫路市立網干環境楽習センター条例第19条第2項及び姫路市指定管理者制度導入基本方針に基づき、環境局指定管理者選定委員会で基準を定め審査を行った結果、要求要件を満たしていることが確認され、指定管理者候補者に選定した。

5 評価内容

- ・姫路市立網干環境楽習センターは、地域の振興・活性化を目的とする地域密着型の施設として位置付けており、当施設に対し地域住民が親しみをもち、積極的に利用してもらうためには、地域住民等で組織された当該法人により管理運営を行うことが施設の設置目的を効果的に達成できる最適な方法である。
- ・NPO法人あぼしまちコミュニケーションは、網干及び網干西地区全自治会が基盤となり設立した法人であり、イベントなどを通じての網干地区内の地域団体との連携は非常に強固で地域コミュニティの醸成を図っている。
- ・管理経費は、運営の効率化と創意工夫により、経費削減が図られた内容であった。
- ・施設の管理運営に当たって留意すべき事項（施設の設置目的、利用者の平等利用、安全性への配慮等）についての認識が深く、優れた提案内容であった。

6 環境局指定管理者選定委員会委員

| | 役 職 | 氏 名 |
|------|-----------------------|--------|
| 委員長 | 姫路市環境局長 | 生駒 清之 |
| 副委員長 | 姫路市環境局美化部長 | 井上 泰利 |
| 委員 | 京都経済短期大学准教授（学識経験者） | 小島 理沙 |
| | 姫路市連合婦人会 会長（市民・利用者代表） | 岩田 稔恵 |
| | 公認会計士 | 榎下 伸一郎 |

7 選定経緯

(1) 募集方法 非公募

(2) 選定委員会検討経過

| | | | |
|------|--------|-----|---|
| 現地視察 | 令和元年7月 | 1日 | 姫路市立網干環境楽習センター等管理施設の現地視察 |
| 第1回 | 令和元年7月 | 1日 | 申請手続要領・審査基準等の審議・決定 |
| 第2回 | 令和元年8月 | 31日 | 申請書類の審査、申請者によるプレゼンテーション及び質疑による審査、候補者の選定 |

(3) 評価結果

各委員が以下の評価項目について、各種申請書類並びに申請者によるプレゼンテーション及び質疑に基づき厳正な審査を行った結果、要求要件を満たしていることが確認され、指定管理者候補者に選定した。

| | 大項目 | 中項目 |
|------|-----------|-----------------------------|
| 評価項目 | 事業計画等の評価 | 施設の管理運営方針 |
| | | 施設の効用を最大限に発揮・管理経費の縮減 |
| | | 施設の管理を安定して行う能力 |
| | 管理運営経費の評価 | 指定管理料提案額（単年度平均：48,032,000円） |
| | | 収支計画の妥当性 |

(4) 議事要旨

- ・ 現地視察
「あぼしまち交流館」等を見学後、エコパークあぼし内の「網干環境楽習センター」、「焼却施設」、「再資源化施設」を視察した。
- ・ 第1回選定委員会
事務局から「選定委員会のスケジュール」、「指定管理者制度の概要」について説明を行った。
「姫路市立網干環境楽習センター指定管理者申請手続要領（案）」及び「審査基準（案）」について審議を行い、原案どおり承認された。
- ・ 第2回選定委員会
事務局から平成29・30年度の決算、申請者から提案された予算、指定管理料について概要説明、楨下委員（公認会計士）から「団体の経営の安定性・継続性」について審査結果を報告した後、申請書類により書類審査を実施した。
申請者からのプレゼンテーション及び質疑応答による審査を行い、各委員の評価を確定した。

8 候補者の承認

令和元年10月18日開催の指定管理者制度運用委員会において指定管理者候補者を決定